



12の太鼓が織りなすビートが響く！ SAFAIKOーサファイコ ライブ

9月24日、八雲町活性化施設で、今年3月に山崎小学校で児童交流を行ったセネガル出身のアフリカンパーカッションリスト、ママドゥ・ローさんが加わる演奏グループ「SAFAIKO」によるライブが行われ約150人が来場しました。このイベントはママドゥさんの演奏をみんなに広めたいと実行委員会が企画し行われたもので、会場はセネガルの布などで飾られ、アフリカムードの中、演奏に合わせライブペインティングや町内在住のダンサーつぶらさんによるベリーダンス、satoruさんによるギターなどが披露され、会場は大きな拍手に包まれ大盛況のライブイベントとなりました。



北海道教育の日 協賛事業 図書館フェスティバル

10月7日・14日、町立図書館で図書館フェスティバル(町教育委員会主催)が行われ、両日合わせ約300人が図書館に訪れました。会場では、宮沢賢治「風野又三郎」をテーマにアコーディオンの演奏や版画家佐藤国男氏との対談、やくも朗読サークルによる幻灯朗読会のほか、色が変化する花など科学の面白さがいっぱいサイエンスショーやプラ板でキーホルダー作りなどをする工作会、しかけ絵本展示など多くの催しが行われ来場者はイベントを楽しみました。

おかしをくれないと、いたずらしちゃうぞ！ みんなで仮装して楽しもう！ 八雲ハロウィン

10月21日、はぴあ八雲、ら・ふもで八雲ハロウィン(主催：八雲ハロウィンプロジェクト実行委員会、商工会など)が、町内外の多くのボランティアスタッフにより行われました。会場には約1,000人が来場し、魔女やお化け、カフェの店員など思い思いの扮装での仮装コンテスト、本町通りをウォーキングしお菓子をもらうトリックオアトリート・ハロウィンウォークのほか、お化け屋敷などを楽しみました。実行委員長の赤井さんは「今後もこのイベントを定着させ大きくし、まちの賑わいを創出していきたい」とイベントの手応えについて笑顔で語っていました。



歌人・啄木を育てた北海道 国際啄木学会ー北海道八雲大会

10月7日・8日、はぴあ八雲にて国際啄木学会北海道八雲大会(主催：国際啄木学会および北海道支部)が開催されました。昨年開催の盛岡市大会で次回開催地について「これまでの開催したことのない北海道の町」との打診があり、八雲啄木会(長江隆一会長)が名乗りを上げ実現しました。学会には、全国の研究者や愛好家など約100人が集まり、天理大学名誉教授の太田登氏による記念講演のほか、パネルディスカッションなどが行われました。また、八雲啄木会は、啄木の歌曲合唱や短歌吟詠などを披露し会場を盛り上げました。長江会長は「この大会を通じて多くの人に八雲を知ってもらえたことが嬉しい。啄木研究家の仲間たちと啄木を共有したい」と語っていました。

